経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県　和気町

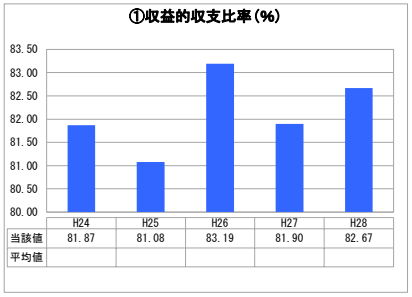
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	5.41	100.00	3,069

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
14,564	144.21	100.99
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
787	0.37	2,127.03

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	81.87	81.08	83.19	81.90	82.67
平均値					

「単年度の収支」

②累積欠損金比率(%)

	H24	H25	H26	H27	H28
当該値					
平均値					

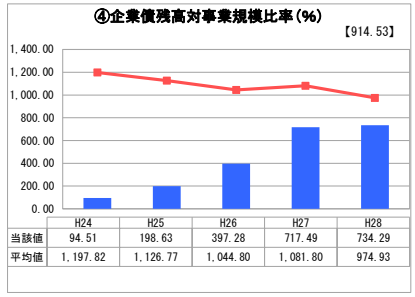
「累積欠損」

③流動比率(%)

	H24	H25	H26	H27	H28
当該値					
平均値					

「支払能力」

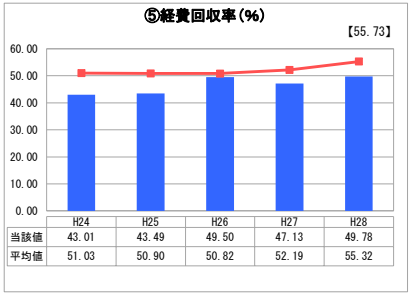
④企業債残高対事業規模比率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	94.51	198.63	397.28	717.49	734.29
平均値	1,197.82	1,126.77	1,044.80	1,081.80	974.93

「債務残高」

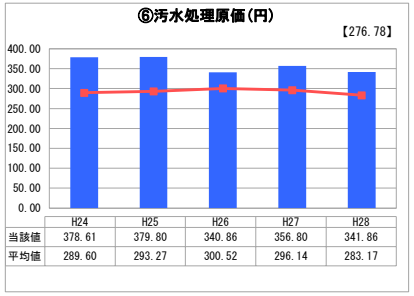
⑤経費回収率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	43.01	43.49	49.50	47.13	49.78
平均値	51.03	50.90	50.82	52.19	55.32

「料金水準の適切性」

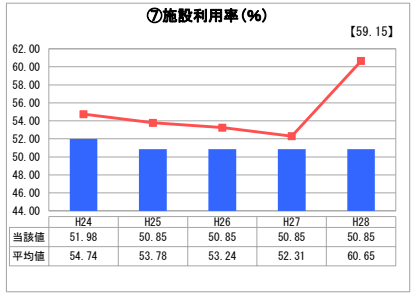
⑥汚水処理原価(円)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	378.61	379.80	340.86	356.80	341.86
平均値	289.60	293.27	300.52	296.14	283.17

「費用の効率性」

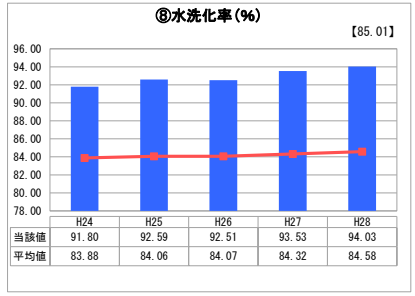
⑦施設利用率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	51.98	50.85	50.85	50.85	50.85
平均値	54.74	53.78	53.24	52.31	60.65

「施設の効率性」

⑧水洗化率(%)

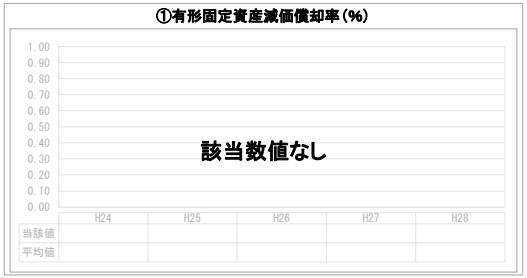


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	91.80	92.59	92.51	93.53	94.03
平均値	83.88	84.06	84.07	84.32	84.58

「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値					
平均値					

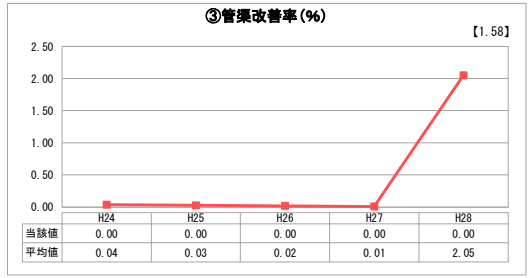
「施設全体の減価償却の状況」

②管渠老朽化率(%)

	H24	H25	H26	H27	H28
当該値					
平均値					

「管渠の経年化の状況」

③管渠改善率(%)



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.04	0.03	0.02	0.01	2.05

「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※　平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、地方債償還額及び維持管理費の減少により、改善が見られる。今後も適正な維持管理に努めていく。
企業債残高対事業規模比率については、上昇傾向にあるが、平成27年度からは大きな変動はなく、類似団体と比較しても、低い水準となっており、適切な投資規模となっている。
経費回収率については、大きな変動はなく、類似団体より低い水準である。今後も一層、維持管理のスリム化を図り、経費削減に努めていく。
汚水処理原価については、類似団体より高い傾向にあり、接続率も高いことから、有収水量の増加はほぼ見込めない。したがって、適正な維持管理に努め、経費の削減を徹底する。
施設利用率については、平成25年から変動がなく、一定の水準を保っているが、類似団体と比較して、平成28年度は大きな差が出ており、人口の減少に伴い、施設規模の適正化を検討していく必要がある。
水洗化率については、概ねエリア全域に普及しており、早期から下水道事業への取組みをしていることもあって、類似団体と比較しても高い水洗化率となっている。しかし、一部未接続があるので、今後も普及促進のＰＲをしていく。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年更新等の実績はありません。今後、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。

全体総括

経営の健全性に向け、使用料の適正設定及び、一層の維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。
また、施設の老朽化や人口減少による改築更新等に備え、処理場・管渠等の長期的な更新計画を策定し、健全な事業運営に努める。